



く・ぬ・ぎ・ば・や・し



大富士小・中学校教育目標「志をもち 心豊かで たくましく生きる子」

— 楽しく学び、探究力（問題解決能力）を育む学校 — 4月号【4月21日発行】

お子様の御入学、御進級、おめでとうございます。1年生124名を迎え、全校児童793名で令和8年度がスタートしました。大富士小・中学校教育目標の実現を目指して取り組んでいきます。

私は、本校勤務2年目となる校長の米津 英郎(よねづ ひでお)です。保護者及び地域の皆様と連携・協力して取り組んでいきたいと思ひます。御理解と御協力をよろしくお祈ひします。

知られざる教育

— こどもを主役とした「こども観」の共有 —

校長 米津 英郎

私が令和8年度最初の学校便りでお伝えしたいことは、かつて皆様にあまり知られることがなかった「こども観」のことです。このことは、多くの教育関係者でさえ、その真のすがたを知らなかったのかもしれない。しかし、ほとんどの人は、当然「そのことを知っていた」と答えるでしょう。けれど知らなかったのです。もし知っていたとするならば、不登校傾向のこどもや学ぶことを避けるこどもが、こんなにも全国的に増加することはなかったと考えているからです。

「こども観」について述べる前に、学校の主役は誰か、考えてみたいと思ひます。言うまでもなく**学校の主役はこども**です。このことに異を唱える人はいないでしょう。全ての人が、学校の主役はこどもであることに同意してくれます。学校の主役がこどもであるとするならば、主役のこどもの思いが優先されるべきです。でも、実際はそうとは言えません。主役のこどもの思いよりも「これをやらせよう、あれもこどもに教えよう」という大人側の思いが優先された指導になってしまっています。しかも、これらの指導は「こどもにとってよかれ」と思っただけで行われています。そのことに気付いている心根のやさしいこどもは、「やりたくない」「息苦しい」という声をあげることなく、黙って我慢しています。

そこで、そうならないためにこどもを主役とした「こども観」について、保護者の皆様と共有して教育活動に取り組んでいくこととしました。以下に「こども観」を示します。

- ・こどもは「学びたい、できるようになりたい、仲間と仲良くなりたい」と考えている存在である。
- ・こどもは「自分さえよければよい、できない人が悪い、仲間はずれをしたい」と考えている存在ではない。もし、そういう表れが見られるとするならば、原因はこどもではなく、周りの関わり方に問題があるのではないか。威圧的、指示命令的、競争的な私たちの関わり方にこそ問題がある。
- ・本来、こどもは学ぶ力があり、みんなで教え合い、助け合い、育ち合っただけ伸びていく存在である。

このような「こども観」を根底として、言い訳なしでこどもを信じて教育活動に取り組むたいと思ひます。一年間、よろしくお祈ひします。

入学式 124名の新1年生が入学

4月8日（水）、令和8年度大富士小学校入学式を執り行いました。今年度の入学生は124名となり、市内小学校で最大の人数となりました。新入生の表情はさまざまで、期待と緊張が入り交じっているこどももいれば、終始笑顔で式に臨むこどももあり、一人一人の個性や多様性が感じられる入学式となりました。

当日は、保護者と一緒に入場し、保護者の隣に着席して式の話の話を聞きました。校長やPTA会長の祝辞に耳を傾ける姿からは、初めての学校行事に向き合う真剣さが伝わってきました。教科書や黄色い帽子などは代表児童が受け取り、新入生を代表して大切に受け取る姿が印象的でした。

校長からは、砂時計を例に挙げながら、「こどもの成長は砂時計と同じで、少しずつですが確実に進んでいきます。あせらず、一步一步、ゆっくりが

んばっていきましょう」という話がありました。

その言葉を受け、新入生は元気よく「はい！」と返事をし、これから始まる学校生活への前向きな気持ちを感じられました。

初めての式典という慣れない場面でも、話す人の方を見て話を聞いたり、周囲の様子を見ながら行動したりする姿が見られました。このような姿は、本校が大切にしている「思いやり」や「協働性」の芽生えでもあります。

いよいよ今日から小学生です。これからの6年間、友達と対話を重ね、助け合いながら、楽しい思い出とともに大きく成長して行ってほしいと願っています。

令和8年度 大富士小学校新任教職員着任

令和8年度、大富士小学校は14名の新たな教職員を迎え、新しい一歩を踏み出しました。新しい出会いに期待を寄せながら、校舎にはこれまで以上に活気と温かさが広がっています。

本校では、学校教育目標および学校経営目標の実現に向け、全ての教職員が一丸となり、全校児童一人一人と丁寧に向き合いながら、日々の教育活動を進めてまいります。授業や行事、日常の何気ない関わりを通して、こどもたちの成長を支え、可能性を広げていくことを大切にしています。

また、学校は教職員だけで成り立つものではありません。保護者や地域の皆様の温かな支えがあってこそ、こどもたちは安心して学び、挑戦することができます。今年度も、学校と家庭、地域が力を合わせ、こどもたちの健やかな成長を見守っていただければと考えています。本年度も、大富士小学校の教育活動に対し、変わらぬ御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

